

特別講演

10月29日(土) 17:30~18:15

土着天敵の保護利用による施設園芸害虫の生物的防除……………13
荒川 良(高知大学総合科学系生命環境医学部門)

受賞講演

10月29日(土) 17:00~17:30

学会賞 植物由来根圏化学シグナルとしてのストリゴラクトンに関する生物有機化学的研究……………14
秋山康紀(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)

ランチョンセミナー

10月30日(日) 11:40~12:50

RNA-seqの問題点をマイクロアレイはどのように解決できるか?一次世代マイクロアレイが変える発現解析の常識—
佐古 佑介(アフィメトリクス・ジャパン株式会社)

口頭発表

10月29日(土) 10:30~11:15

1. オーキシンはトコンの不定芽形成部位を決定する……………15
○小池衣茉莉¹、下村謙一郎¹、笠原博幸^{2,3}、林謙一郎⁴、梅原三貴久¹
(¹東洋大・院・生命科学、²理研・環境資源科学セ、³東京農工大・グローバルイノベーション研究院、⁴岡山理大・理・生物化学)
2. 代謝活性化を利用したオーキシン応答の細胞選択的な制御システムの構築……………16
○林謙一郎¹、船越 惇¹、本瀬宏康²、福井康祐¹、三井亮司¹
(¹岡山理科大・理、²岡山大院・自然科学研究科)
3. オーキシン合成酵素 OsTAR1 の阻害剤 Pyruvamine を用いたイネオーキシン生合成経路の解析……………17
○寛 雄介¹、中村郁子¹、山本光洋¹、石田遥介¹、山崎千秋²、佐藤明子¹、成川(奈良)恵³、添野和雄⁴、嶋田幸久¹
(¹横浜市大・木原生研、²日本宇宙フォーラム、³東京理科大、⁴農研機構西日本)
4. 黄化エンドウ芽生え上胚軸の姿勢制御におけるオーキシン極性移動の役割—特にカルシウムイオン動態の観点から—……………18
○岡真理子¹、林 直哉²、宮本健助³
(¹鳥取大・農、²鳥取大院・農、³大阪府立大・高等教育)
5. オーキシン・ブラシノステロイド信号伝達同時制御剤の作用解析……………19
○田中-ジャルンサンティナイヤネート¹、井内 聖²、小林正智²、中嶋正敏¹、浅見忠男¹
(¹東大院・農生科・応生化、²理研・BRC)
6. 葉面積拡大促進因子 BIL8 のブラシノステロイド抑制因子 BIN2 を介した制御機構……………20
○山上あゆみ^{1,4}、中田元基^{1,2}、市川尚斉¹、松井 南¹、藤岡昭三¹、篠崎一雄¹、久城哲夫²、浅見忠男^{1,3,4}、中野雄司^{1,4}
(¹理研・CSRS、²明治大院・農芸化学、³東大院・農生科、⁴JST-CREST)
7. 花茎伸長を促進する新規ブラシノステロイド情報伝達因子 BIL7 の BIL1/BZR1 の核局在促進機構解析……………21
○宮地朋子^{1,3}、市川尚斉¹、松井 南¹、藤岡昭三¹、篠崎一雄¹、浅見忠男^{2,3}、中野雄司^{1,3}
(¹理研・CSRS、²東大院・農生科・応生化、³JST-CREST)
8. ブラシノステロイド情報伝達因子 BPG4 の概リズム同調的な発現と緑化促進活性の解析……………22
○丸上萌々^{1,2}、阿部 晋^{1,2}、山上あゆみ^{1,4}、市川尚斉¹、松井 南¹、久城哲夫²、篠崎一雄¹、浅見忠男^{3,4}、中野雄司^{1,4}
(¹理研・CSRS、²明治大院・農、³東大院・農学生命、⁴JST CREST)
9. 植物成長促進化合物 PPG の生理機能の解明とターゲットタンパク質の探索……………23
○竹野 駿^{1,2}、田中翔太^{1,2}、山上あゆみ¹、嶋田せつこ¹、松井 南¹、寛 雄介³、嶋田幸久³、大谷美沙都⁴、出村 拓⁴、
久城哲夫²、浅見忠男^{5,6}、篠崎一雄¹、中野雄司^{1,6}
(¹理研・CSRS、²明治大院・農芸化学、³横浜市大、⁴奈良先端大、⁵東大院・農生科・応生化、⁶CREST・JST)
10. カンベスタノールを経由するブラシノステロイド生合成経路における3位酸化/異性化酵素の機能解明……………24
○村松佳祐¹、渡辺文太²、野村崇人³、横田孝雄⁴、水谷正治⁵、大西利幸^{1,6,7}
(¹静岡大院・総科技・農、²京都大・化研、³宇都宮大・バイオ、⁴帝京大・バイオ、⁵神戸大院・農、⁶静岡大・院・農、
⁷静岡大・グリーン研)

11. シロイヌナズナの <i>BESI/BZRI</i> ホモログ 4(<i>BEH4</i>) 遺伝子の発現解析	25
○大谷 結 ¹ 、徳重謙也 ¹ 、朝長勇介 ¹ 、上村美優 ¹ 、重田友明 ¹ 、佐々木梓沙 ² 、中村考志 ² 、松尾友明 ¹ 、岡本繁久 ¹ (¹ 鹿児島大農、 ² 京府大生環)	
12. シロイヌナズナにおける非生物ストレスに応答した小胞体の動態変化と ABA 配糖体加水分解酵素の活性化に関する研究	26
韓 邑平 ¹ 、渡邊俊介 ² 、木下大地 ¹ 、高木 紘 ¹ 、島田裕士 ¹ 、○坂本 敦 ¹ (¹ 広島大院理、 ² 理研 CSRS)	
13. シロイヌナズナのモリブデン補酵素硫化酵素 ABA3 に隠された新規生理機能の探索	27
○渡邊俊介 ^{1,2} 、澤田有司 ¹ 、平井優美 ¹ 、坂本 敦 ³ 、瀬尾光範 ¹ (¹ 理研 CSRS、 ² 日本学術振興会特別研究員 PD、 ³ 広島大・院理)	
14. アブシシン酸輸送活性を有する新規 NPF タンパク質の機能解析	28
○清水崇史、菅野裕理、瀬尾光範 (理研 CSRS)	
15. アブシジン酸受容体の強化はコムギの節水型耐乾性の形質を付与する	29
○妻鹿良亮 ¹ 、安倍史高 ² 、金 俊植 ³ 、田中啓介 ⁴ 、小林久人 ⁴ 、坂田洋一 ⁵ 、辻本 壽 ¹ 、花田耕介 ⁶ 、岡本昌憲 ^{1,7} (¹ 鳥取大・乾燥地研、 ² 農研機構・作物研、 ³ 理研・環境資源科学研究センター、 ⁴ 東農大・生物資源ゲノム解析センター、 ⁵ 東農大・応用生物科学、 ⁶ 九工大・若手研究者フロンティア研究アカデミー、 ⁷ 科学技術振興機構・さきがけ)	
10月29日(土) 11:30~12:21	
16. テトラロン骨格を有する ABA アナログ PAO4 は単子葉植物に対しても ABA 拮抗剤として機能する	30
○竹内 純 ¹ 、川島徳晃 ² 、大西利幸 ^{2,3,4} 、轟 泰司 ^{2,3,4} (¹ 静大・大学院融合グローバル領域、 ² 静大院・総科技・農、 ³ 静大・大学院農学領域、 ⁴ 静大・グリーン研)	
17. ABA 受容体 PYL の強力なアンタゴニスト PANMe の生物活性とその構造基盤	31
○三村尚毅 ¹ 、朝比奈尚紀 ² 、川島徳晃 ² 、岡本昌憲 ³ 、須恵雅之 ⁴ 、大西利幸 ^{1,2,3} 、轟 泰司 ^{1,2,5} (¹ 静大院・創造、 ² 静大院・総科技・農、 ³ 鳥取大・乾燥地研究センター、 ⁴ 東農大・応生科、 ⁵ 静大・グリーン研)	
18. シロイヌナズナ種子におけるアブシジン酸合成を促進し、温度に依存して発芽を阻害する化合物の選抜と解析	32
○山口源貴、亀岡音羽、岸川智紀、川上直人 (明大・農)	
19. 新奇エチレン様活性物質の <i>Striga hermonthica</i> 種子発芽誘導活性	33
○水野 翼 ¹ 、北畑信隆 ² 、鈴木優志 ¹ 、浅見忠男 ¹ (¹ 東大院農生科・応生化、 ² 東京理科大・理・応用生物科学科)	
20. エチレン活性を示す新規化合物	34
○王 敬銘 ¹ 、原光二郎 ² 、上田健治 ² 、鈴木龍一郎 ² 、星 智樹 ¹ 、冨尾 冴 ¹ 、吉澤結子 ¹ (¹ 秋田県立大・応用生物、 ² 秋田県立大・生物生産)	
21. 新規エチレン様活性化合物の作用機構の解析	35
○渡辺健志郎 ¹ 、北畑信隆 ¹ 、浅見忠男 ² 、朽津和幸 ¹ (¹ 東京理科大・院理工・応用生物科学、 ² 東京大院・農生科)	
22. キュウリ果実のアポプラスト中の主要な内生植物ホルモンの分布	36
○児島清秀、高田真裕香 (新潟大農)	
23. LMD 法を用いたシロイヌナズナ切断花茎の組織癒合過程における時空間的遺伝子発現解析	37
中野渡幸 ¹ 、小倉健太郎 ¹ 、伴瀬真麻 ¹ 、山田一貴 ¹ 、佐藤 忍 ² 、○朝比奈雅志 ¹ (¹ 帝京大・理工・バイオ、 ² 筑波大・生命環境)	
24. テンナンショウの性転換に関わる研究	38
○大西利幸 ¹ 、鈴木秀幸 ² (¹ 静岡大・大学院・農、 ² かずさ DNA 研究所)	
25. 遺伝子発現プロファイリングを用いた酢酸コリンによる植物生長促進機構の解析	39
○神村麻友 ¹ 、迫田凌一 ¹ 、小林 毅 ² 、蔡 晃植 ¹ (¹ 長浜バイオ大・バイオ、 ² アグロカネショウ株式会社)	
26. アントラニル酸と環状構造物インドール-7-カルボン酸は発根促進活性において相似性を示す	40
○真木祐子 ¹ 、岩倉 優 ² 、副島 洋 ¹ 、綿引雅昭 ³ 、谷野圭持 ⁴ 、山口淳三 ³ (¹ 雪印種苗(株)・技術研究所、 ² 北大院・総化、 ³ 北大院・理・生物、 ⁴ 北大院・理・化)	

27. コハク酸がシロイヌナズナ芽生えの側根形成と生長に与える影響について 41
 ○玉置大介¹、加藤智朗²、西内 巧¹
 (¹金沢大・遺伝子、²(株)フローラ)
28. 根端メリステムの活性を制御するペプチドホルモン RGF の受容体の同定 42
 ○篠原秀文¹、林 陽子¹、森 彩華²、安江奈緒子³、住田久美子¹、松林嘉克¹
 (¹名古屋大院・理、²名古屋大院・生命農学、³基生研)
29. 植物の抽だい抑制化合物に関する生物有機化学的研究 43
 ○荻原 毅¹、天野就基¹、三井裕樹²、藤野介延¹、太田啓之³、高橋公咲¹、松浦英幸¹
 (¹北大院農、²東農大、³東工大院生命理工)
30. オオムギ *brachytic1* はヘテロ三量体 G タンパク質 α サブユニットをコードする 44
 ○伊藤歩惟、安田歩未、山岡康輔、堅田雄也、上田美奈瀬、中山 明、本多一郎
 (前工大・生物工学)
31. イネのファイトアレキシン生産におけるジャスモン酸とサイトカイニンのクロストーク 45
 ○石塚祐伸¹、宮本皓司¹、篠崎征喜¹、平山琢郎¹、本江 匡¹、酒澤智子¹、湯本絵美¹、柴田恭美¹、横田孝雄¹、朝比奈雅志¹、
 飯野盛利²、岡田憲典³、山根久和¹
 (¹帝京大・バイオ、²大阪市大・理・植物園、³東大・生物工学セ)
32. イネにおけるセレプロシド誘導のジテルペン型ファイトアレキシン生産におけるサイトカイニンの関与 46
 ○本江 匡¹、宮本皓司¹、石塚祐伸¹、古賀仁一郎¹、酒澤智子¹、柴田恭美¹、朝比奈雅志¹、横田孝雄¹、飯野盛利²、岡田憲典³、
 山根久和¹
 (¹帝京大・バイオ、²大阪市大・理・植物園、³東大・生物工学セ)
- 10月29日(土) 13:50~15:02**
33. 微細藻類 *Euglena gracilis* の光ストレス応答におけるジャスモン酸の生理機能の解析 47
 ○加藤翔太¹、高橋晃司¹、渡邊陽太¹、加瀬大地²、湯本絵美¹、横田孝雄¹、山根久和¹、篠村知子¹
 (¹帝京大・理工・バイオ、²帝京大・院・理工)
34. イネのストレス応答における活性カルボニル化合物の生理機能 48
 ○見目 凌¹、宮本皓司¹、石田 翼¹、田代裕也¹、鶴見明彦¹、酒澤智子¹、湯本絵美¹、柴田恭美¹、横田孝雄¹、朝比奈雅志¹、
 岡田憲典²、山根久和¹
 (¹帝京大・バイオ、²東大・生物工学セ)
35. 光学活性ジャスモン酸の簡便な合成 49
 ○内田健一、宮本皓司、湯本絵美、酒澤智子、横田孝雄、山根久和
 (帝京大バイオ)
36. *cis*-12-oxo-phytodienoic acid (*cis*-OPDA) の異性化と LC-MS/MS 分析 50
 ○横田孝雄¹、湯本絵美¹、柴田恭美¹、松浦英幸²、宮本皓司¹、山根久和¹
 (¹帝京大バイオ、²北大院農)
37. イネのジテルペン型ファイトアレキシン生合成を制御する転写因子 DPF のノックアウトイネの作製 51
 山村千紘^{1,2}、石川一輝^{1,2}、田淵雄夢³、前田 哲¹、岡田憲典³、鎌倉高志²、○森 昌樹¹
 (¹農研機構・生物機能利用研究部門、²東理大・理工、³東大・生物生産工学研究センター)
38. イネのジテルペン型ファイトアレキシン生産制御因子 DPF のジャスモン酸シグナル下流での働き 52
 ○田淵雄夢¹、堤 涼¹、根本圭一郎²、澤崎達也²、森 昌樹³、宮本皓司⁴、山根久和⁴、光田展隆⁵、野尻秀昭¹、岡田憲典¹
 (¹東大・生物生産工学研究センター、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター、³農研機構・生物機能利用研究部門、
⁴帝京大・バイオサイエンス、⁵産業技術総合研究所)
39. ハイゴケのモミラクトン生産誘導で働くオキシリピン情報伝達経路 53
 照屋美優¹、藤原 薫¹、宮本皓司²、宮崎 翔³、川出 洋³、夏目雅裕³、中嶋正敏⁴、山根久和²、林謙一郎⁵、野尻秀昭¹、
 ○岡田憲典¹
 (¹東大・生セ、²帝京大・バイオ、³東京農工大・農学府、⁴東大・応生化、⁵岡山理科大・理学部)
40. シロイヌナズナ芽生えの胚軸間接ぎ木における RAP2.6L とジャスモン酸の機能 54
 ○松岡啓太¹、柳 来樹¹、佐藤 忍²、朝比奈雅志¹
 (¹帝京大・理工・バイオ、²筑波大・生命)
41. ジャスモン酸共受容体サブタイプ選択的アゴニストの合理的設計と *in vivo* 機能評価 55
 ○高岡洋輔¹、岩橋万奈¹、斎藤大明²、江越脩祐¹、加藤信樹¹、石丸泰寛¹、上田 実¹
 (¹東北大院理、²理研生命システム研究センター)

42. トマトにおけるエンドファイト *Azospirillum* sp. B510 株の定着が及ぼす病害抵抗性誘導効果の解析 56
 ○藤田萌香、奥村泰子、草島美幸、仲下英雄
 (福井県大院・生資)
43. シロイヌナズナにおけるヒートショック処理による病害抵抗性誘導機構の解析 57
 ○井上真依¹、草島美幸¹、西内 巧²、仲下英雄¹
 (福井県大・生資、²金沢大)
44. オカボノアカアブラムシのイネ根への寄生による褐変機構の解明 58
 ○山下紗季¹、手林慎一¹、上田真二¹、及川 彰^{2,3}、佐々木亮介³、斉藤和季^{3,4}、上手麻希⁵、間世田英明⁵、石原 亨⁶
 (高知大農、²山形大農、³理研 PSC、⁴千葉大院薬、⁵徳島大 STS 研究所、⁶鳥取大農)
45. イネのトレハロース誘導抵抗性に関与する新たな ERF 転写因子の機能解析 59
 ○手塚大介^{1,4}、川又 彩²、加藤英樹³、佐分利亙¹、森 春英¹、今井亮三⁴
 (北大院・農、²北大・農、³農研機構・北農研、⁴農研機構・生物機能)
46. イネにおけるオクタデカノイド経路を介したフェノールアミド生産制御 60
 ○新屋友規¹、北條優子¹、宮本皓司²、内田健一²、山根久和²、岡田憲典³、Galis Ivan¹
 (岡山大・植物研、²帝京大・バイオ、³東大・生物工学セ)
47. 2-hexenal による heat shock factorA2 の発現誘導機構の解析 61
 ○國嶋幹子、小山怜奈、山内靖雄、水谷正治、杉本幸裕
 (神戸大院農)
48. 新規植物免疫活性化剤候補化合物の探索と作用機構の解析 62
 ○北畑信隆^{1,2}、吉田亜祐美¹、羽山大介¹、佐藤静香¹、斉藤優歩¹、中野正貴¹、吉川岳史¹、来須孝光³、上田貴志⁴、浅見忠男⁵、
 朽津和幸^{1,2}
 (東京理科大、²東京理科大・イメージングフロンティアセンター、³東京工科大、⁴基礎生物学研究所、⁵東大院・農生科)
49. 植物の ROS 生成酵素 Rboh 及び感染防御応答の初期シグナル伝達系を阻害する新規化合物の探索と化合物耐性変異体
 スクリーニング系の構築 63
 ○末次真悠¹、北畑信隆^{1,2}、助川夏雄¹、中野正貴¹、来須孝光^{2,3}、浅見忠男⁴、朽津和幸^{1,2}
 (東京理科大・院・理工・応用生物科学、²東京理科大・イメージングフロンティアセンター、³東京工科大・応用生物、
⁴東京大・院・農学生命)
50. 被子植物間に存在するフラジェリン認識システムの多様性 64
 ○平井洋行、村上貴彦、古川岳人、蔡 晃植
 (長浜バイオ大院・バイオ)
51. 有機化学物質の植物による吸収・移行性における栽培環境要因の影響 65
 ○並木小百合¹、大谷 卓²、清家伸康¹
 (農研機構農業環境変動研究センター、²農研機構高度解析センター)
52. ☆液胞膜型輸送体 MTP8.1 と MTP8.2 はイネの根におけるマンガニン耐性に寄与する 66
 ○常光優太¹、竹本侑馬²、山地直樹²、馬 建鋒²、加藤伸一郎¹、岩崎貢三¹、上野大勢¹
 (高知大農、²岡山大植物研)
53. ☆ *Nicotiana benthamiana* における Translationally controlled tumor protein を介したプログラム細胞死制御機構 67
 ○毛利昭博¹、渡辺真帆¹、Gupta Meenu¹、Galis Ivan²、北条優子²、新屋友規²、大西浩平³、曳地康史¹、木場章範¹
 (高知大農、²岡山大植物研、³高知大総研セ)
54. ☆デンドロビウム・キンギアナムのプロトコーム様球体 (PLB) の器官形成に及ぼすエスレルの影響 68
 Sultana Umma Habiba
 (高知大農)
55. ☆‘土佐文旦’果実の無核化および肥大促進技術の開発 69
 ○川井友紀子¹、西森 空¹、若山沙樹¹、廣瀬拓也^{2,3}、尾形凡生¹、濱田和俊¹
 (高知大農、²愛媛大院連合農、³高知県農技せ果樹試)
56. ☆海岸地適応に関する形態学および解剖学的研究 70
 ○二部野友樹¹、前川富貴¹、藤本 悠¹、伊藤 桂²、荒川 良²、福田達哉²
 (高知大学大学院総合人間自然科学研究科、²高知大学農学部)
- ☆ 大会実行委員会による特別招待

10月30日(土) 9:30~10:30

57. ストリゴラクトンがイネの種子サイズに与える影響	71
○大竹真未、山田雄介、梅原三貴久 (東洋大 院 生命科学)	
58. 硫酸欠乏条件下で栽培したイネの内生ストリゴラクトン量	72
○進藤真登 ¹ 、中村華子 ² 、山田雄介 ¹ 、下村謙一郎 ¹ 、山口信次郎 ³ 、梅原三貴久 ^{1,2} (¹ 東洋大・院・生命科学、 ² 東洋大・生命科学・応用生物、 ³ 東北大・院・生命科学)	
59. マイクロトムのストリゴラクトン欠損系統の探索と生育評価	73
○長谷川翔子 ¹ 、岡部佳弘 ² 、有泉 亨 ² 、江面 浩 ² 、梅原三貴久 ² (¹ 東洋大学・院・生命科学、 ² 筑波大・生命環境)	
60. ササゲにおける CYP711A 酵素の機能解析	74
○森 采美 ¹ 、井関萌絵 ¹ 、水谷正治 ¹ 、杉本幸裕 ^{1,2} (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² JST/JICA SATREPS)	
61. ソルガムにおける CYP711A 酵素の機能解析	75
○支田香澄 ¹ 、水谷正治 ¹ 、杉本幸裕 ^{1,2} (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² JST/JICA SATREPS)	
62. カーラクトンからストリゴラクトンへの変換における多様性の解析	76
○井関萌絵 ¹ 、水谷正治 ¹ 、滝川浩郷 ^{1,2} 、杉本幸裕 ^{1,2} (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² JST/JICA SATREPS)	
63. ササゲによる合成ストリゴラクトン GR24 の D 環の還元	77
○山内美沙 ¹ 、小林紗也 ¹ 、上野琴巳 ^{1,2} 、古本敏夫 ³ 、水谷正治 ¹ 、滝川浩郷 ^{1,4} 、杉本幸裕 ^{1,4} (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² 現鳥取大・農、 ³ 香川大・農、 ⁴ JST/JICA SATREPS)	
64. イネのストリゴラクトン生合成経路における <i>OsLBO</i> の機能解析	78
○佐藤郁奈 ¹ 、北岡直樹 ¹ 、来生貴也 ¹ 、徳永浩樹 ¹ 、秋山康紀 ² 、経塚淳子 ¹ 、瀬戸義哉 ¹ 、増口 潔 ¹ 、山口信次郎 ¹ (¹ 東北大院・生命科学、 ² 大阪府大院・生命環境)	
65. ストリゴラクトン非依存的な信号伝達を可能とする変異型 AtD14 タンパク質の探索	79
○櫻田 茜 ¹ 、Weiqiang Li ² 、瀬戸義哉 ¹ 、増口 潔 ¹ 、山口信次郎 ¹ (¹ 東北大院・生命科学、 ² 理研・CSRS)	
66. ケミカルスクリーニングによる D14 を標的とする新規ストリゴラクトンアゴニストの創出	80
○安井 令 ¹ 、伊藤晋作 ² 、川田紘次郎 ² 、笠原博幸 ³ 、瀬戸義哉 ¹ 、増口 潔 ¹ 、山口信次郎 ¹ (¹ 東北大・院・生命科学、 ² 東農大・応生科・バイオ、 ³ 東京農工大・グローバルイノベーション研究院)	
67. タルウマゴヤシにおける <i>medicaol</i> 合成酵素遺伝子の同定に向けた <i>medicaol</i> 生合成経路の確定	81
○倉本惇嗣 ¹ 、謝 肖男 ² 、米山弘一 ² 、秋山康紀 ¹ (¹ 阪府大院・生命環境、 ² 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)	
68. ミヤコグサにおける MAX1 の下流で働く新規ストリゴール型ストリゴラクトン生合成酵素の存在	82
○森 愛実 ¹ 、謝 肖男 ² 、米山香織 ² 、野村崇人 ² 、米山弘一 ² 、秋山康紀 ¹ (¹ 阪府大院・生命環境、 ² 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)	
69. ストリゴラクトン生合成酵素 MAX1 の機能多様性	83
○米山香織 ¹ 、森 愛実 ² 、秋山康紀 ² 、佐藤智康 ¹ 、齋藤睦美 ¹ 、謝 肖男 ¹ 、米山弘一 ¹ 、野村崇人 ¹ (¹ 宇都宮大・バイオ、 ² 大阪府立大院・生命環境)	
70. シロイヌナズナにおける新奇ストリゴラクトン生合成酵素 LBO の機能解析	84
○米山香織 ¹ 、Brewer Philip ² 、秋山康紀 ³ 、依田彬義 ¹ 、謝 肖男 ¹ 、瀬戸義哉 ⁴ 、山口信次郎 ⁴ 、Beveridge Christine ² 、米山弘一 ¹ 、野村崇人 ¹ (¹ 宇都宮大・バイオ、 ² クイーンズランド大学、 ³ 大阪府立大院・生命環境、 ⁴ 東北大院・生命科学)	
71. 全身獲得抵抗性に対するストリゴラクトンシグナルの影響の解析	85
○草島美幸 ¹ 、奥村泰子 ¹ 、浅見忠男 ² 、仲下英雄 ¹ (¹ 福井県大・生資、 ² 東大院・応生化)	
72. D14 と相互作用する転写因子・NF-YC の機能解析	86
○池上佳菜子、長江末有、増口 潔、高橋郁夫、中村英光、浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)	

73. 転写因子 STH7 を介したストリゴラクトン・カリキンによるシロイヌナズナの光形態形成誘導機構	87
○タッサグンパニトジュティポーン ¹ 、永井優子 ¹ 、中野雄司 ² 、中村英光 ¹ 、浅見忠男 ¹ (¹ 東大院・農生科・応生化、 ² 理研・CSRS)	
74. ストライガ HTL/KAI2 の機能制御剤の探索	88
○今村優作、高橋郁夫、呂 瑩、胡 文倩、太田 鋼、喜久里貢、福井康佑、中村英光、浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)	
75. 新規ストリゴラクトン類縁体の合成と構造活性相関への探索及び D14 による分解活性の評価	89
○呂 瑩 ¹ 、喜久里貢 ¹ 、竹内 純 ² 、山野博之 ¹ 、中村英光 ¹ 、浅見忠男 ¹ (東大院・農生科・応生化、 ² 静大・大学院・融合・グローバル領域)	
76. シロイヌナズナ種子発芽の高温阻害を緩和する化合物と植物ホルモン作用の関連	90
○亀岡音羽、山口源貴、東 翔太、川上直人 (明大・農)	
10月30日(日) 10:45~11:30	
77. 植物新規アシルポリアミン類の探索・機能解析	91
○山野博之 ¹ 、岩川純也 ¹ 、彦坂政志 ¹ 、中村英光 ¹ 、鈴木智大 ² 、森 昌樹 ³ 、浅見忠男 ¹ (¹ 東大院農生科・応生化、 ² 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター、 ³ 農研機構・生物機能利用研究部門)	
78. シロイヌナズナ中アシルポリアミン類の探索・機能解析	92
○和田隆之介 ¹ 、山野博之 ¹ 、山岸卓矢 ¹ 、岩川純也 ¹ 、彦坂政志 ¹ 、中村英光 ¹ 、森 昌樹 ² 、浅見忠男 ¹ (¹ 東大院農生科・応生化、 ² 農業生物資源研究所)	
79. オオムギ属植物における防御関連二次代謝産物	93
○宇部尚樹 ¹ 、西坂美穂 ² 、上野琴巳 ² 、武田 真 ³ 、石原 亨 ² (¹ 鳥取大院・農、 ² 鳥取大・農、 ³ 岡山大・資源植物科学研究所)	
80. イチョウ偽果に含まれるアナカルド酸類とそれらのエステル誘導体が示す対 <i>Nostoc</i> 属シアノバクテリア・ホルモゴニア分化誘導活性	94
○西塚紘明、橋床泰之 (北海道大院農・応生科)	
81. ヒカゲヘゴの葉抽出物に含まれる生長抑制物質の探索	95
○井田詞之 ¹ 、照屋俊明 ² 、加藤 尚 ¹ (¹ 香川大・院・農、 ² 琉球大・教育)	
82. ウメの花の蛍光とミツバチの訪花行動の化学生態学的研究	96
○森信之介 ¹ 、川上真理 ¹ 、大石雅典 ¹ 、福井宏至 ² 、後藤勝実 ³ 、月岡淳子 ³ 、佐久間正幸 ¹ 、刑部正博 ¹ 、杉岡稔朗 ¹ 、平井伸博 ¹ (¹ 京大院・農、 ² 香川大名誉教授、 ³ 京都薬科大附属薬用植物園)	
83. ネコブセンチュウの誘引現象に関与する生理活性物質	97
○吉田翔太郎 ¹ 、西川博崇 ¹ 、開出智美 ¹ 、伊藤晋作 ² 、石毛太一郎 ³ 、岩堀英晶 ⁴ 、近藤竜彦 ¹ 、小鹿 一 ¹ (¹ 名大院・生命農、 ² 東農大・応生科・バイオ、 ³ 東農大・ゲノムセンター、 ⁴ 龍谷大学・農)	
84. 根浸出液に由来する枯草菌増殖刺激物質の探索	98
○樋口侑夏 ¹ 、西川博崇 ¹ 、伊藤晋作 ² 、石毛太一郎 ³ 、近藤竜彦 ¹ 、小鹿 一 ¹ (¹ 名大院・生命農、 ² 東農大・応生科・バイオ、 ³ 東農大・ゲノムセンター)	
85. 植物の気孔密度を制御するペプチドホルモン stomagen の構造活性相関	99
○植田健太 ¹ 、根岸佑香里 ² 、近藤竜彦 ² 、小鹿 一 ² (¹ 名大農、 ² 名大院・生命農)	
86. キク科薬用植物中の天然型オーキシン極性移動制御物質の探索とその作用機構	100
○戸田雄太 ¹ 、岡田一穂 ¹ 、浅見留依 ² 、繁森英幸 ³ 、上田純一 ¹ 、宮本健助 ^{1,4} (¹ 大阪府立大・院・理学系、 ² 筑波大・院・生命環境科学研究科、 ³ 筑波大・生命環境系、 ⁴ 大阪府立大・高等教育推進機構)	
87. 1,6-ジアシル型チューリップシドを基質とした 1-アシル型チューリップシドの酵素合成	101
○野村泰治 ¹ 、山口航平 ¹ 、荻田信二郎 ^{1,2} 、加藤康夫 ¹ (¹ 富山県立大・生工研セ、 ² 県立広島大・生命科学)	
88. 薬用植物 <i>Scoparia dulcis</i> 由来ジテルペンの骨格形成に関与する酵素遺伝子の機能解析	102
○梅原依男、山村良美、黒崎文也、李 貞範 (富山大院・薬)	

89. ゲノム編集を用いたイネのモミラクトン生合成に関わるデヒドロゲナーゼの機能解析 …………… 103
 ○宮本皓司¹、酒澤智子¹、湯本絵美¹、柴田恭美¹、朝比奈雅志¹、横田孝雄¹、豊増知伸²、岡田憲典³、山根久和¹
 (¹帝京大・バイオサイエンス、²山形大・農、³東大・生物生産工学研究センター)
90. トウモロコシにおけるプロゲステロン生合成酵素の機能解明 …………… 104
 ○齋藤千枝加¹、野村崇人²、横田孝雄³、大西利幸^{1,4,5}
 (¹静岡大院・総科技・農、²宇都宮大・バイオ、³帝京大・バイオ、⁴静岡大・院・農、⁵静岡大・グリーン研)
91. ハナビシソウにおけるイソキノリンアルカロイド生合成遺伝子の発現ネットワーク解析 …………… 105
 ○西田昇平、山田泰之、佐藤文彦
 (京大院生命)